

平成 26 年度学校法人日本医科大学決算

去る平成 27 年 5 月 26 日(火)に開催された第 705 回定例理事会及び定例評議員会において、平成 26 年度学校法人日本医科大学の収支決算が承認・可決されました。

(法人本部 財務部)

平成 26 年度は、武蔵境キャンパスの合同教育棟の建設工事が予定通りに竣工し、4 月より日本医科大学と日本獣医生命科学大学の学生が同じキャンパスで学ぶ新体制がスタートしました。また、新付属病院も予定通りに前期工事が終了し、8 月より稼働を開始し大きな混乱もなく順調に推移しています。

その中で、予算においては帰属収支差額 1.5 億円の収入超過を計画してスタートいたしましたが、診療報酬の実質引き下げの改定や千葉北総病院における院内感染発生への対応等により、上半期の医療収入が前年度を下回る苦しいスタートとなりました。下半期の 4 病院の医療収入は付属病院を中心に前年対比で徐々に増加し、年度通算での医療収入は約 10 億円の増加となったものの、予算に対しては 33 億円の未達となりました。また補助金収入は約 45.6 億円と前年度より 12 億円の減少となりました。支出面では新付属病院オープンに関わる一時的費用の計上や人員増による人件費の増加、消費税率の引き上げの影響等によりほぼ予算通りの執行となりました。

上記の要因から帰属収入合計は 847 億円と前年度より 1 億円の増収に留まり、予算対比では 45 億円の未達でありました。支出合計は 892 億円と前年対比では約 61 億円の大幅増加となり、予算に対しても 1 億円の超過となりました。帰属収支差額は 44.6 億円という多額の支出超過計上を余儀なくされ、前年対比では 60 億円の悪化、予算対比では 46 億円の未達となりました。資金面では、付属病院の建設・医療設備資金のため年度末借入金残高は 599 億円と前年度より 95 億円の増加となりましたが、ほぼ予算通りの増加に留めました。

以下に、決算の概要について説明いたします。

なお、掲載している各計算書の数値は、日常学内で使用している勘定科目により集計したもので、決算時に文部科学省に届け出ている学校法人会計基準に準拠したものとは一部異なる部分があります。

<消費収支計算書>

収入の部

学生生徒等納付金

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校の授業料、入学金、教育充実費等の金額で 64 億円となりました。

医療収入

4病院（付属病院、武蔵小杉病院、多摩永山病院、千葉北総病院）、クリニック（腎クリニック、呼吸ケアクリニック、成田国際空港クリニック）、健診医療センターを合わせ、689億5千万円で対予算比33億円の減収となりましたが、対前年比では10億円の増収となりました。

寄付金

9億円で対予算比3億円の減収となりましたが、対前年比では7千万円の増収となりました。寄付金の中には千駄木地区再開発募金による寄付金が2億3千万円含まれています。その他、主に企業等から講座、教室等に対する寄付金、日本医科大学、日本獣医生命科学大学の教育研究施設に対する寄付金等が含まれています。

補助金

国、地方公共団体等から、法人全体で45億6千万円の補助金を受け、対予算比10億円の減収となりました。

付属事業収入

付属事業収入は、日本獣医生命科学大学の動物医療センターとワクチン療法研究施設で行われている丸山ワクチンによる収入が主であり、6億7千万円となりました。

受託事業収入

受託事業収入は、受託検査・受託指導・受託研究・治験・受託事業の収入であり、13億円で対予算比8千万円の減収となりました。

支出の部

人件費

総額で、397億2千万円、対予算比1億7千万円の増加となりました。

管理費

管理費は、施設・設備の修繕費、業務委託費、各種機械の保守維持費等151億2千万円で対予算比12億円の増加となりましたが、これは新付属病院オープン（前期）にかかる一時的費用によるものです。

教育研究費

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校の学生教育に必要な経費及び各講

座・教室に予算配分される研究費が主であり、23億円で、対予算比7億9千万円の減少となりました。

医療経費

医療経費は236億5千万円、対予算比7億円の減少となり、医療経費比率は34.3%となりました。

施設・設備支出

平成26年度の主な施設・設備の整備のための投資は次のとおりです。

(アクションプラン21関係工事)

➤ 付属病院建設工事に係る費用及び設備整備

(法人本部)

➤ 3号館改修工事

(日本医科大学)

➤ 7号館臨床医学大学院分野にかかる研究体制整備工事

(日本獣医生命科学大学)

➤ 合同教育棟(E棟)設備整備

(武蔵小杉病院)

➤ A館ナースコール設備更新工事

(多摩永山病院)

➤ 更衣室棟建設工事

(千葉北総病院)

➤ A棟4階改修工事

1. 資金収支

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位):百万円

資金収入の部				資金支出の部			
科 目	H26予算 ①	H26実績 ②	対予算 ②-①	科 目	H26予算 ①	H26実績 ②	対予算 ②-①
学生生徒等納付金収入	6,459	6,451	△ 8	人件費支出	39,328	39,427	99
手数料収入	234	261	27	管理費支出	13,917	15,116	1,199
寄付金収入	1,209	852	△ 357	職員募集対策費支出	28	30	3
補助金収入	5,565	4,561	△ 1,004	福利厚生費支出	755	786	31
資産運用収入	597	619	22	学事費支出	148	106	△ 42
資産売却収入	-	4	4	教育研究費支出	3,096	2,306	△ 790
補助活動収入	54	52	△ 2	医療経費支出	24,367	23,720	△ 647
附属事業収入	675	675	△ 0	附属事業支出	508	500	△ 8
受託事業収入	1,419	1,341	△ 78	借入金等利息支出	727	731	3
医療収入	72,287	68,947	△ 3,340	施設関係支出	3,046	3,711	665
雑収入	692	924	232	設備関係支出	11,683	7,333	△ 4,350
その他の収入	△ 286	927	1,213	資産運用支出	-	-	-
				その他の支出	△ 672	621	1,293
				予備費	350	-	△ 350
経常収入	88,905	85,616	△ 3,289	経常支出	97,283	94,387	△ 2,896
				経常収支	△ 8,378	△ 8,771	△ 393
借入金等収入	24,000	23,900	△ 100	借入金等返済支出	14,514	14,439	△ 75
				借入金収支	9,486	9,461	△ 25
				財務収支	9,486	9,461	△ 25
				総合収支	1,107	691	△ 417
				借入金残高	59,953	59,928	△ 25
				現預金残高	3,459	3,042	△ 417

(注)・科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。
・学内管理用の科目を使用しております。

2. 消費収支

消費収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位):百万円

消費収入の部				消費支出の部			
科目	H26予算 ①	H26実績 ②	対予算 ②-①	科目	H26予算 ①	H26実績 ②	対予算 ②-①
学生生徒等納付金	6,459	6,451	△ 8	人件費	39,561	39,726	166
手数料	234	261	27	管理費	13,917	15,117	1,200
寄付金	1,238	903	△ 334	職員募集対策費	28	30	3
補助金	5,565	4,561	△ 1,004	福利厚生費	755	786	31
資産運用収入	597	619	22	学事費	148	106	△ 42
資産売却差額	-	4	4	教育研究費	3,096	2,306	△ 790
補助活動収入	54	52	△ 2	医療経費	24,367	23,656	△ 711
付属事業収入	675	675	△ 0	付属事業支出	508	500	△ 8
受託事業収入	1,419	1,341	△ 78	借入金利息	727	731	3
医療収入	72,287	68,947	△ 3,340	減価償却費	5,873	6,120	247
雑収入	692	924	233	資産処分差額	35	38	3
				徴収不能引当金繰入額	55	81	26
				予備費	-	-	-
帰属収入計	89,219	84,740	△ 4,479	消費支出計	89,071	89,195	124
基本金組入額	△ 10,566	△ 11,418	△ 852	消費収支差額	△ 10,418	△ 15,872	△ 5,455
消費収入合計	78,654	73,322	△ 5,331	帰属収支差額(組入前)	148	△ 4,455	△ 4,604

(注)・科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

・学内管理用の科目を使用しております。

3. 貸借対照表

貸借対照表
平成27年3月31日現在

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	H26実績 ①	H25実績 ②	対前年 ①-②	科 目	H26実績 ①	H25実績 ②	対前年 ①-②
固定資産	110,883	106,435	4,449	固定負債	66,331	56,660	9,671
有形固定資産	109,405	104,584	4,821	長期借入金	48,924	39,336	9,588
土地	22,126	22,126	0	退職給与引当金	17,011	16,711	299
建物	65,471	51,188	14,284	長期未払金	397	612	△ 216
構築物	1,648	1,672	△ 23	流動負債	25,402	25,529	△ 127
教育研究用機器備品	14,855	11,415	3,440	短期借入金	11,004	11,131	△ 127
その他の機器備品	367	239	128	短期未払金	12,058	12,153	△ 95
図書	4,399	4,355	45	前受金	1,389	1,400	△ 10
車両	56	74	△ 17	預り金	899	789	110
建設仮勘定	482	13,516	△ 13,034	患者預り金	51	57	△ 6
その他の固定資産	1,478	1,851	△ 373	仮受金	1	0	1
ソフトウェア	117	8	108	負債合計	91,733	82,189	9,544
電話加入権	36	36	0				
施設利用権	1	1	△ 0				
借地権	159	159	0	基本金の部			
敷金・保証金	144	139	6	基本金	170,464	159,047	11,417
長期有価証券	356	356	0	第1号基本金	164,428	152,511	11,917
長期貸付金	608	594	14	第2号基本金	-	500	△ 500
第2号基本金引当資産	-	500	△ 500	第3号基本金	58	58	0
第3号基本金引当資産	58	58	0	第4号基本金	5,979	5,979	0
流動資産	17,667	17,026	640	消費収支差額の部			
現金	108	131	△ 23	消費収支差額	△ 133,648	△ 117,776	△ 15,872
預金	2,934	2,219	715	当年度消費支出超過額	△ 15,873	△ 2,897	△ 12,976
未収入金	13,671	13,964	△ 293	前年度繰越消費支出超過額	△ 117,776	△ 114,997	△ 2,778
貯蔵品	537	472	65	基本金取崩額	1	119	△ 118
短期貸付金	93	89	4				
前払金	323	150	174				
仮払金	1	1	△ 0				
合 計	128,550	123,461	5,089	合 計	128,550	123,461	5,089

(注)・科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。